

JENESYS2.0

体験を通して学ぶ日本

実施団体：山梨県

訪問日程 平成26年12月8日(月)～12月17日(水)

1. プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、韓国忠清北道地域の大学生で構成された研修団27名が来日し、12月8日から17日までの9泊10日の日程で研修を行いました（引率：禹順喜（ウ・スンヒ）忠清北道庁国際通商課職員、鄭昭悃（チョン・ソヨン）同）。

「体験を通して学ぶ日本」という研修テーマの下、山梨県での自然体験や環境教育、学校訪問を通じて日本人との交流や韓国ゆかりの人物についての学習、着物着付けの文化体験等を行い日本の魅力を体感しました。

2. 日程

12月8日(月)

到着（成田空港）、山梨県へ移動

12月9日(火)

オリエンテーション、自然体験プログラム(清里)

12月10日(水)

ポールラッシュ記念館見学、バター・箸作り体験

12月11日(木)

地産地消食材を利用した料理作り、浅川伯教・巧兄弟資料館見学(講義)

12月12日(金)

山梨県立大学訪問(学生との意見交換・交流会、学長表敬・意見交換会)

12月13日(土)

笛吹高校訪問(和食・おせち料理作り、試食)、座禅体験(住職講話)

12月14日(日)

大学生との交流会

12月15日(月)

山梨県立博物館、河口浅間神社、北口本宮浅間神社、西湖いやしの里根場見学(着物着付け体験、まゆ人形作り)

12月16日(火)

都内へ移動、江戸東京博物館見学、風呂敷包体験、報告会

12月17日(水)

帰国(羽田空港)

3. 写真

	
<p>(日本語) 12月9日 仲間と知り合うプログラム(北杜市)</p>	<p>(日本語)12月9日 自然体験プログラム(北杜市)</p>
<p>(母国語) 12월 9일 친구들과 친해지게 되기 위한 프로그램(호쿠토시)</p>	<p>(母国語) 12월 9일 자연체험 프로그램(호쿠토시)</p>
	
<p>(日本語) 12月10日 ポールラッシュ記念館見学(北杜市)</p>	<p>(日本語) 12月10日 バター作り(北杜市)</p>
<p>(母国語) 12월 10일 폴 라쉬 기념관 견학(호쿠토시)</p>	<p>(母国語) 12월 10일 버터 만들기 체험(호쿠토시)</p>
	

<p>(日本語) 12月10日 マイ箸作り (北杜市)</p> <p>(母国語) 12월 10일 자기 젓가락 만들기(호쿠토시)</p>	<p>(日本語) 12月11日 昼食作り体験(北杜市)</p> <p>(母国語) 12월 11일 중식 만들기 체험(호쿠토시)</p>
	
<p>(日本語) 12月11日 浅川伯教・巧兄弟資料館見学(北杜市)</p> <p>(母国語) 12월 11일 아사카와 노리타카・타쿠미 자료관 견학(호쿠토시)</p>	<p>(日本語) 12月12日 山梨県立大学訪問(甲府市)</p> <p>(母国語) 12월 12일 야마나시현립대학 방문(고후시)</p>
	
<p>(日本語) 12月12日 山梨県立大学訪問(甲府市)</p> <p>(母国語) 12월 12일 야마나시현립대학 방문(고후시)</p>	<p>(日本語) 12月12日 山梨県立大学学長表敬訪問(甲府市)</p> <p>(母国語) 12월 12일 야마나시현립대학 학장 예방(고후시)</p>

	
<p>(日本語)12月13日 和食料理体験(甲府市)</p>	<p>(日本語) 12月13日 恵林寺・座禅、茶道体験、住職講話(甲州市)</p>
<p>(母国語) 12월 13일 일식 요리 체험 (고후시)</p>	<p>(母国語) 12월 13일 에린지 좌선체험과 다도회, 주지스님의 말씀(고슈시)</p>

	
<p>(日本語) 12月14日 学生交流会(富士吉田市)</p>	<p>(日本語) 12月15日 河口浅間神社見学(富士河口湖町)</p>
<p>(母国語) 12월 14일 학생교류회 (후지요시다시)</p>	<p>(母国語) 12월 15일 가와구치아사마 신사 견학(후지카와구치코마치)</p>

	
<p>(日本語) 12月15日 西湖いやしの里根場</p>	<p>(日本語) 12月15日 西湖いやしの里根場</p>

見学(富士河口湖町)	見学(富士河口湖町)
(母国語) 12 월 15 일 사이코 이야시노 사토 넌바 견학(후지카와구치코마치)	(母国語) 12 월 15 일 사이코 이야시노 사토 넌바 견학(후지카와구치코마치)
	
(日本語)12月16日 風呂敷包み体験(東京都)	(日本語)12月16日 風呂敷包み体験(東京都)
(母国語) 12 월 16 일 후로시키(보자기) 체험(도쿄)	(母国語) 12 월 16 일 후로시키(보자기) 체험(도쿄)

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○日本、日本人について

- ・この研修で出会った人たちすべてが親切だったことがいちばん記憶に残った。
- ・どこへ行っても観光案内がされていて、地域の特産物なども紹介されており購入しやすかった。
- ・食事、富士山が印象的だった。
- ・些細なことにも「すみません」「失礼しました」と言うところが礼儀正しいと思った。
- ・自然景観を守り大切にしている地域の住民たちが印象的だった。
- ・日本の大学生との交流を通して、互いの国の違いと誤解を解くことができ、有意義な時間だった。
- ・自然環境が整っている点、道路がきれいな所など日本人から学ぶことは多いと思った
- ・何度か体調を崩したが、そのたびに周りの人達が気遣い心配してくれたこと印象的だった。

○その他

- ・10 日間では互いを深く知ることは出来なかったが、個人個人の交流を通して同じ悩みや人間性を持っていることを感じることができた。
- ・定年が早い韓国に比べ、お年寄りも雇用され働いている姿が印象的だった。
- ・韓国人として持っている日本人に対する拒否感や偏見などをわずかながら解消できた。
- ・実際の日本はニュースやマスメディアで見っていたのとは全く違っていった。
- ・自分たちと同世代の大学生とはなし、彼らが考える韓国のイメージを知ることができた
- ・国籍や言語が違って、自分たちと暮らしが似ている事を知り親近感がわいた。
- ・学生との交流では言葉が通じなくて時間がかかり、じれったさを感じた。
- ・交通違反をする車が少ないことに驚いた。
- ・キープ協会での自然文化体験では、スタッフと仲良くなり、別れる時に寂しかった。

◆自国の人に伝えたいこと

・日本に対し先入観を持っている人たちに、一般の日本人はニュースで見るような偏見を持った人ばかりではないことを伝えたい。